

# とちの実 支援センターだより

2022年 9月発行 NO.157

支援センターだよりで、8月号まで 園庭のつき山・一本橋・屋台・木のブランコ・砂場など 紹介しました。今回は、園庭が変わりはじめてからの子どもの様子を紹介します。

## <園庭に込めた思い>

とちの実保育園は、以前コンクリートでつくられた砂場と鉄製の滑り台などがある園庭で転んだときにすぐケガにつながるため大人もこわい思いをしていました。また、遊びが広がるようなコーナーが少ないため、自分から選んで遊びこめなかったり、草花も少なくグラウンドのように広いだけだったので大きい子は走りまわっている姿が多くありました。いつでもみんなが安心して遊べる園庭にしたい。また、子ども自分から遊びを選んで向かっていけるような園庭にしたい(主体性を大切にしたい)という思いで2016年11月より鉄製・コンクリートのものはなくし木を使った遊具や、保護者の方と環境(丸太を使ったコーナーわけ)を、共に進めてきました。

## <安心>

コンクリートがなくなったことでケガにつながるものが少なくなり、大人の不安が減りました。また、木を使った遊具が増えたことで自分たちから遊びを選んで向かって楽しめることで、大きい子たちが走ってぶつかることも少なくなりました。

## <虫・緑・お花>

・以前よりも緑やお花が増えて、色水を作ることが出来たり虫が少しずつやってきてくれるようになったので草の中やプランターの裏を見て虫を探し、嬉しそうに持ち歩いたり 動く様子を見て楽しんでいます。

## <土・砂・水・泥>

土や砂の質がよくなり、きめ細かな砂の感触に触れてみたり素足が気持ちよくなり土・水・泥を楽しめるようになりました。

## <つき山>

・つき山ができて高さのある山になり、登る楽しさや 登ってみたいという思い 降りるときの葛藤友だちとつながって滑り降りたりと、楽しさが広がりました。

## <挑戦・葛藤する思い>

・園庭の中に、つき山・一本橋・小タワー・ツリーハウス・木のぼり・屋台と、のぼるところが増えたことで自ら挑戦する姿 考えたり気づく姿 葛藤している姿 あきらめない姿 自分でタイミングを決める姿など様々な思いが 子どもの姿から見られるようになりました。

## <友だちと>

・励ましあったり、友だちの姿を見て自分もやってみたいという思いが膨らんだり、友だちと ここまで来たんだという思いの共有や、叶ったときの心からの嬉しさが表情に溢れている姿があります。  
・高いところへ登ったときの眺めを楽しんだり、屋台の屋根の上に登れたとき 嬉しさのあまり友だちと一緒に飛び跳ねたり、屋根でごろんとなってみたり、気もちよさを感じている姿があります。

## <真剣な表情>

・一本橋で高さが感じられるところにさしかかると気持ちも集中して真剣な表情に変わります。



←2016年

↓ 2020年



こんな風になりました！  
その後も変わっているので  
また今後にお伝えします

☆ 園内・園庭を実際に目で見て、触れて感じていただけたらと思います。  
ぜひ、遊びにいらしてくださいね。お待ちしております。

※10月の予定については、すくすくネットをご覧ください。

## 「利用にあたってのお願い」

- 利用は山形市在住の方に限らせて頂きます。
- 利用の際は、前日までに電話連絡をお願いします。
- 利用者を3組もしくは、8名までとさせていただきます。
- アルコール消毒液で手指の消毒とマスクの常時着用をお願いします。
- 検温、健康チェック票の記入をお願いします。
- 他の人との身体的距離(最低でも1m)をとった行動をお願いします。
- 飲食はご遠慮ください。
- 風邪症状のある方は利用を控えて下さい。

とちの実保育園 支援センター 山形市南四番町3-11 TEL023-666-8899